堺市：堺エネルギー地産地消プロジェクト

脱炭素先行地域の対象：**泉北ニュータウンエリア、都心エリア、オフサイトエリア**
主なエネルギー需要家：【泉北ニュータウンエリア】次世代ZEH＋住宅180戸、公共施設等4施設 【都心エリア】公共施設8施設

取組の全体像

ニュータウン問題(著しい高齢化とインフラの老朽化)に直面する泉北ニュータウンにおける、次世代ZEH＋住宅(180戸)の導入や、都心エリアにおける**高層市庁舎のZEB化**等を行うとともに、市内未利用地等に太陽光発電設備を設置し、小売電気事業者を介した**コーポレートPPA**により先行地域対象施設の脱炭素化に取り組む。また、ICTなど先進技術の活用による公共交通の利便性向上などにより、人と公共交通主体の都市空間の創出等を推進(**堺・モビリティ・イノベーション(SMI)プロジェクト**)。

1．民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

① **【泉北ニュータウンエリア】**府営住宅の建替等による集約と併せて創出される活用地において、新たに供給される**住宅全戸(180戸)を次世代ZEH+**の高性能住宅化(太陽光発電設備1,260kWと蓄電池を最大限導入)。また、地域冷暖房によりエリア全体の省エネを図っている泉ヶ丘駅周辺エリアの再開発に合わせ、公共施設等において省エネ改修、太陽光発電設備・ガスコージェネレーション等の導入を推進

② **【都心エリア】**堺東駅⇔堺駅間を結ぶ大小路筋周辺の公共施設8施設を省エネ化・PPAによる太陽光発電設備の導入。特に、市庁舎は**事例の少ない高層庁舎のZEB化**(ZEB Oriented)を推進

③ **【オフサイトエリア】**市内未利用地や駐車場等に太陽光発電設備(合計7,857kW)を設置し、小売電気事業者を介した**コーポレートPPA**により先行地域へ再エネ電力を供給

【活用地の取組イメージ】

2．民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

① 泉ヶ丘駅周辺に**地域冷暖房**を活用した、高効率大型コージェネレーションシステム、高効率大型空調熱源機等の導入

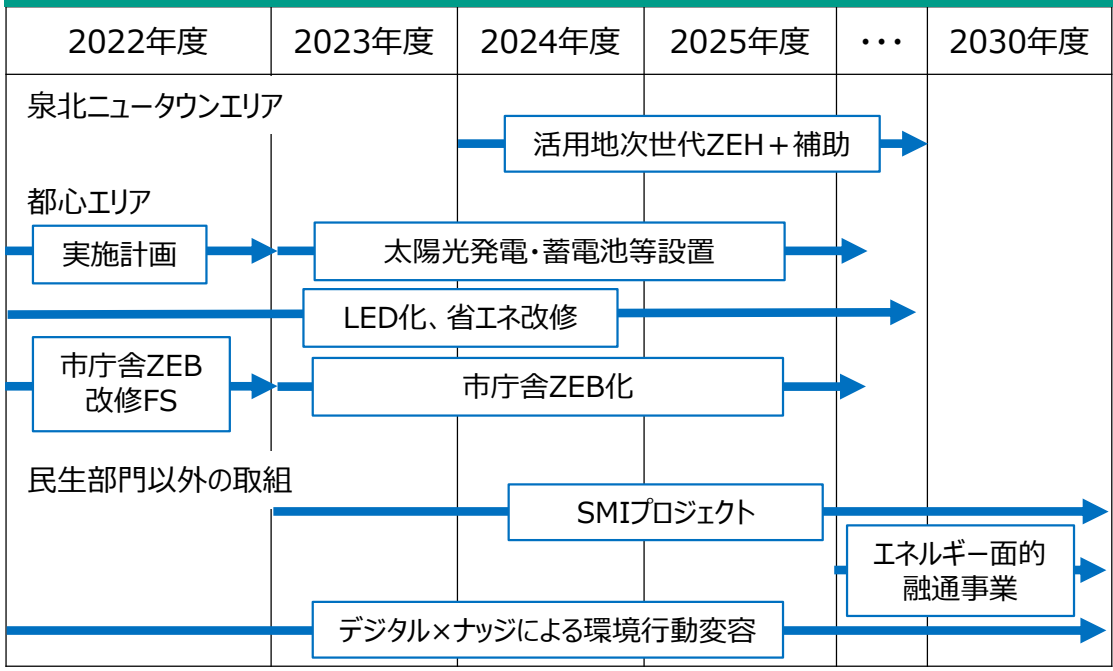
② **堺・モビリティ・イノベーション(SMI)プロジェクト**：ICTなど先進技術の活用による公共交通の利便性向上に加え、自動運転EV車両の導入や充電設備の整備、多様な人が滞留・交流できる空間の創出などにより、人と公共交通主体の都市空間の創出を段階的に推進

③ 大阪府が整備予定の広域都市OS(ORDEN)を活用し、**ナッジ**とポイント(インセンティブ)を用いた環境行動変容促進事業を実施

3．取組により期待される主な効果

① 太陽光発電設備、蓄電池といった自立分散型電源を備えた次世代ZEH+住宅導入により、住宅個々の電力自給率向上・**レジリエンス強化**、断熱性能向上による健康増進

② 日本全国で直面している**ニュータウン問題**(著しい高齢化とインフラの老朽化)**の脱炭素による解決**モデルケースとして、全国へ横展開

③ ICTなど先進技術の活用による公共交通の利便性向上などによる利用促進、**マイカーから公共交通への利用転換**を図る

4．主な取組のスケジュール